

第6章 高野町の今と未来

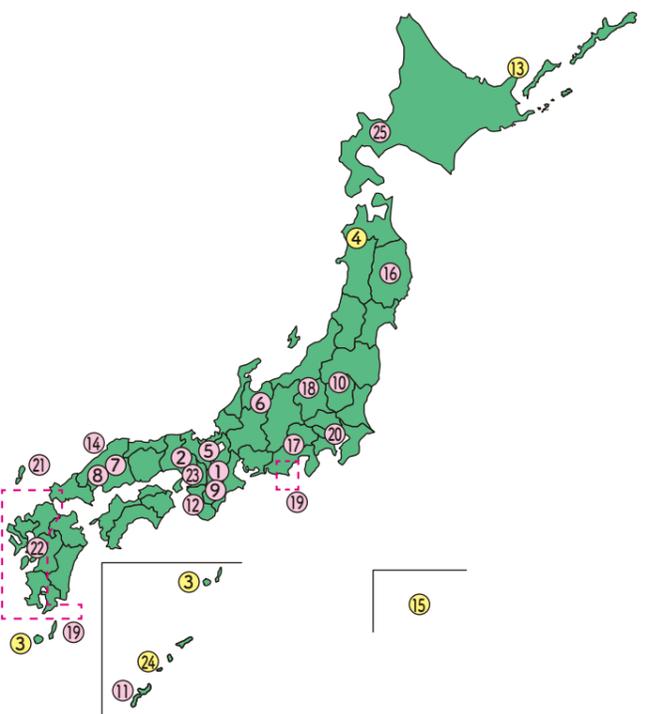
世界遺産 日本遺産

日本の世界遺産

世界遺産とは、世界の人びとにとって共通するかけがえのない宝物で、未来の人びとに引きついでいかなければならない、貴重な文化財や自然のことで、

1972(昭和47)年のユネスコ(国際連合教育科学文化機関)総会で採択された「世界遺産条約」に基づき、1978(昭和53)年に登録が開始されました。歴史的な建築物や遺跡などの「文化遺産」、貴重な生態系などをもつ「自然遺産」、文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えた「複合遺産」の3種類で構成されます。

① 法隆寺地域の仏教建造物	奈良県/1993年
② 姫路城	兵庫県/1993年
③ 屋久島	鹿児島県/1993年
④ 白神山地	青森県、秋田県/1993年
⑤ 古都京都の文化財	京都府、滋賀県/1994年
⑥ 白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県、富山県/1995年
⑦ 原爆ドーム	広島県/1996年
⑧ 厳島神社	広島県/1996年
⑨ 古都奈良の文化財	奈良県/1998年
⑩ 日光の社寺	栃木県/1999年
⑪ 琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県/2000年
⑫ 紀伊山地の霊場と参詣道	和歌山県、奈良県、三重県/2004年
⑬ 知床	北海道/2005年
⑭ 石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県/2007年
⑮ 小笠原諸島	東京都/2011年
⑯ 平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	岩手県/2011年
⑰ 富士山-信仰の対象と芸術の源泉	静岡県、山梨県/2013年
⑱ 富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県/2014年
⑲ 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県/2015年
⑳ ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献	東京都/2016年
㉑ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県/2017年
㉒ 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県、熊本県/2018年
㉓ 百舌鳥・古市古墳群-古代日本の墳墓群	大阪府/2019年
㉔ 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県、沖縄県/2021年
㉕ 北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道、青森県、秋田県、岩手県/2021年



⑳ ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献	東京都/2016年
㉑ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県/2017年
㉒ 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県、熊本県/2018年
㉓ 百舌鳥・古市古墳群-古代日本の墳墓群	大阪府/2019年
㉔ 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	鹿児島県、沖縄県/2021年
㉕ 北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道、青森県、秋田県、岩手県/2021年

紀伊山地の霊場と参詣道

「紀伊山地の霊場と参詣道」は2004(平成16)年7月7日、日本で12番目に世界遺産に登録されました。紀伊山地にある「高野山」、「熊野三山」、「吉野・大峯」の3つの霊場とそれぞれに至る「参詣道」が世界遺産にふさわしいと評価されたのです。

紀伊山地の霊場と参詣道の登録資産

資産	種別	年代	概要	所在県名
熊野本宮大社	遺跡	(有史以前)	熊野三山を構成する三神社の一つ	和歌山県
熊野速玉大社	遺跡・景観	(有史以前)	巨石崇拝に起源し熊野三山を構成する三神社の一つ	和歌山県
熊野那智大社	遺跡・景観	(有史以前)	滝崇拝に起源し熊野三山を構成する三神社の一つ	和歌山県
那智山青岸渡寺	遺跡	5世紀前半	滝に出現したとされる観音を本尊とする寺院	和歌山県
那智大滝	景観	(有史以前)	古代から信仰の対象とされてきた日本一の滝	和歌山県
那智原始林	景観	(有史以前)	神域として保護されてきた原始林	和歌山県
補陀落山寺	遺跡	5世紀前半	観音の浄土「補陀落山」に渡海する信仰の拠点寺院の遺跡	和歌山県

熊野三山

高野山

吉野・大峯

参詣道

丹生都比売神社	遺跡	(有史以前)	金剛峯寺の鎮守である神社及び仏教施設の遺跡と参詣道	和歌山県
金剛峯寺	遺跡・景観	816	真言密教の修行道場として創建された金剛峯寺の境内地	和歌山県
慈尊院	遺跡	9世紀前半	金剛峯寺の政所に創建された寺院	和歌山県
丹生官省符神社	遺跡	9世紀前半	金剛峯寺の政所の鎮守として勧請された神々をまつる神社	和歌山県

吉野山	遺跡・景観	(有史以前)	山岳信仰と修験道の聖地	奈良県
吉野水分神社	遺跡	(有史以前)	吉野山の地主神をまつる神社の遺跡	奈良県
金峯神社	遺跡	(有史以前)	吉野山の地主神をまつる神社の遺跡	奈良県
金峯山寺	遺跡	12世紀	修験道の中心寺院及び付属施設の遺跡	奈良県
吉水神社	遺跡	12世紀	金峯山寺に付属した寺院の遺跡	奈良県
大峰山寺	遺跡	8世紀初	修験道の本尊が出現したという高山の山頂にある寺院を中心とする修行場及び遺跡	奈良県

熊野参詣道(熊野古道)	遺跡・景観	10世紀前半以前	熊野三山への参詣者が数多く通行した道(総延長212.2km)	和歌山県・三重県・奈良県
中辺路	遺跡・景観	(有史以前)	京都と熊野三山及び熊野三山相互を結ぶ最も重要な参詣道(総延長100.2km)	和歌山県・三重県
大辺路	遺跡・景観	8世紀	紀伊半島西岸を通る参詣道(総延長14.1km)	和歌山県
小辺路	遺跡・景観	1573以前	高野山と熊野三山を結ぶ参詣道(総延長43.7km)	和歌山県・奈良県
伊勢路	遺跡・景観	10世紀後半以前	紀伊半島東岸を通り、伊勢神宮と熊野三山を結ぶ(総延長54.2km)	和歌山県・三重県
高野参詣道	遺跡・景観	9世紀前半	高野山への参詣者が数多く通行した道(総延長48.6km)	和歌山県
大峯奥駈道	遺跡・景観	8世紀初	吉野・大峯と熊野三山を結ぶ修験者の修行の道(総延長86.9km)	和歌山県・奈良県

高野町を中心とした世界遺産

和歌山県の高野地域では金剛峯寺(高野町)、慈尊院(九度山町)、丹生官省符神社(九度山町)、丹生都比売神社(かつらぎ町)のほか、高野参詣道の町石道、熊野参詣道の小辺路も世界遺産となりました。

さらに、2016(平成28)年10月24日には、高野参詣道の女人道、黒河道、京大坂道不動坂、三谷坂も世界遺産に追加登録されました。

高野町を中心とした日本遺産



高野山不動坂口女人堂

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化、伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

2020（令和2）年6月19日には、「女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～」が、日本遺産に認定されました。

これは、「女人高野」と呼ばれるお寺が所在する高野町と九度山町（和歌山県）、

河内長野市（大阪府）、宇陀市（奈良県）が連携して申請したものです。主な構成文化財は、高野参詣道女人道、不動坂口女人堂（高野町）、慈尊院の建造物群（九度山町）、金剛寺の彫刻群（河内長野市）、室生寺の建造物群（宇陀市）などです。



室生寺五重塔



天野山金剛寺三尊像



慈尊院多宝塔

高野山の女人禁制

高野山は弘法大師空海の入定信仰の聖地として、全国的な知名度をもち、各地から多くの参拝客を集めました。土産物販売店などは、それらの参拝客を相手に商いを行いました。

江戸時代の高野山は女人禁制でした。しかし、高野山を訪れる女性は数多く、女人道といわれる高野山を囲む山やまの女人道周回路を歩いて、ろくろ峠などから壇上伽藍を見下ろし、遠くから拝みました。



ろくろ峠 『紀伊国名所図会』より

1872（明治5）年3月、神社や仏閣の女人禁制が解かれ、高野山

にも女性が入ることができるようになりました。しかし、すぐに女性が住めるようになったのではなく、周辺の村と行き来をするくらしは、多くの男性が出征することになる

1904（明治37）年の日露戦争頃まで長く続きました。

（注）ろくろ峠 高野山と熊野を結ぶ参詣道の高野山側にろくろ峠がある。この峠からは、高野山の壇上伽藍を見下ろすことができる。ろくろ峠と呼ばれるのは、昔、高野山内に入らなかった女性が、おぼけのろくろ首のように首を伸ばして、見える伽藍を拝んだことにちなんでいる。

おたけ地蔵

おたけ地蔵は建立主である「横山たけ」さんの名前に由来している。台座の銘文から、1745（延享2）年に建立されたことがわかっている。横山たけさんが亡き夫のために高野山にやってきて女人堂に参籠しているとき、お地蔵さまが夢に現れたことから、地蔵の建立を思い立ったといわれている。

（注）参籠：祈願のため、神社や寺院などにある期間こもること



女人道

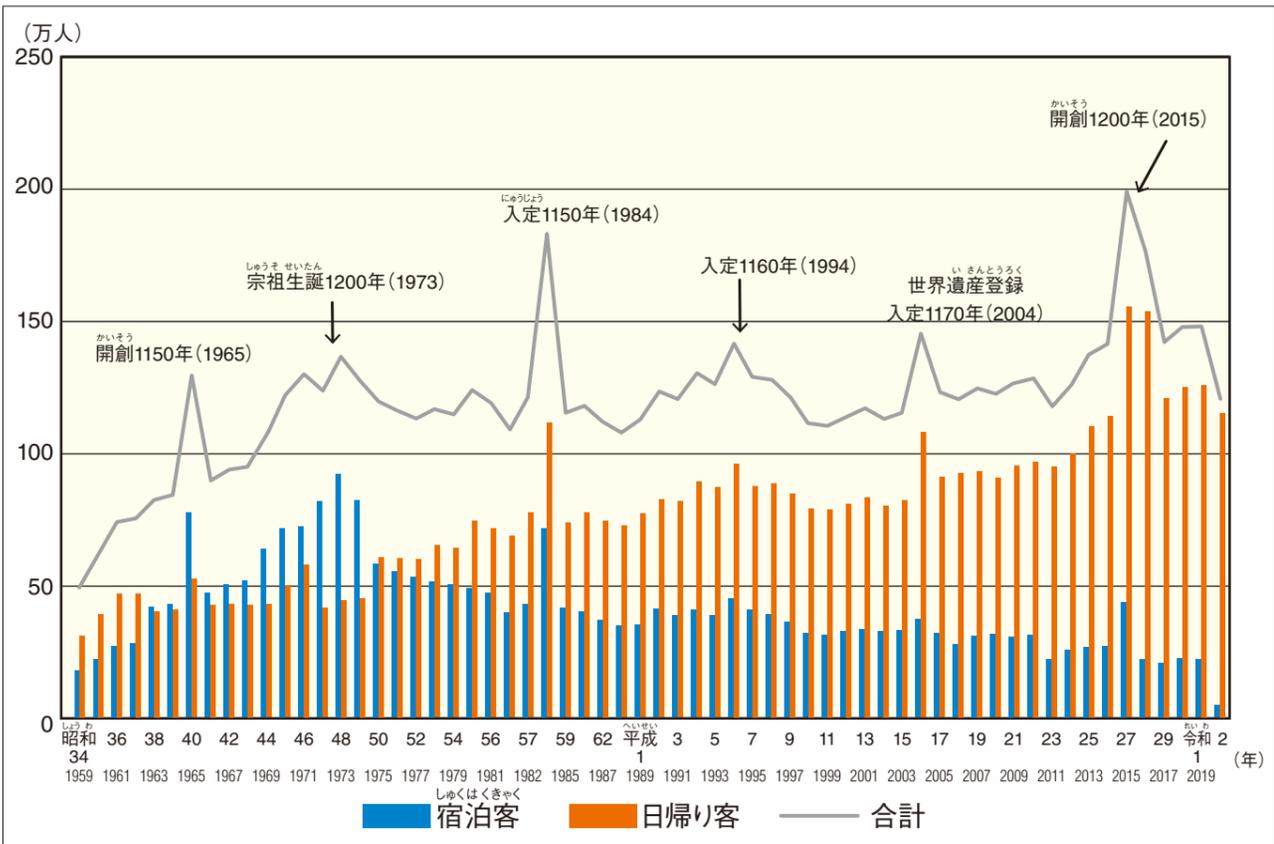


女人堂の向かいにあるおたけ地蔵

魅力あるまち高野町

観光のまち 高野山

高野山は長い間、宗教のまちとしてあゆみ続けてきました。
 現在は観光のまちとして、多くの人々が夏は避暑地、春や秋の行楽地として、高野山を訪れています。また、桜から青葉、紅葉、雪景色まで、四季折おりの魅力を味わうこともできます。最近では、高野山が開かれて以来の長い歴史と文化、それらを包む自然にひかれて、世界各地から多くの外国人が訪れています。



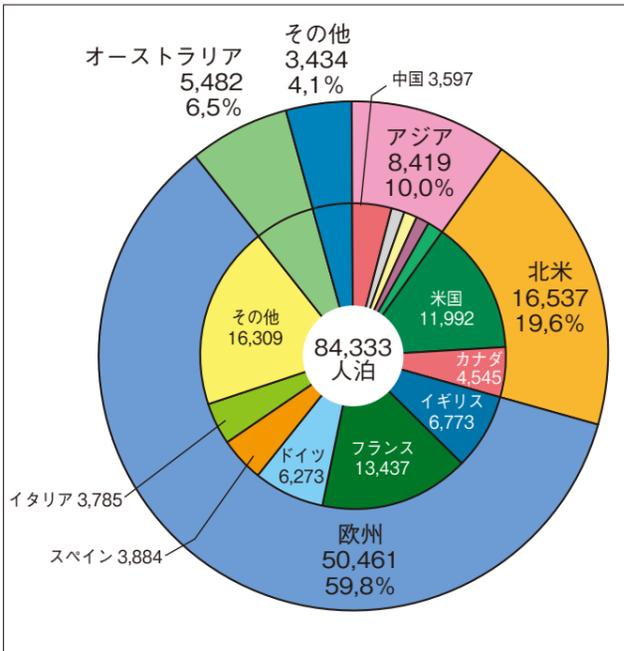
高野山を訪れる観光客数の推移

高野山を訪れる外国人観光客の数は、世界遺産に登録された2004（平成16）年から増えています。2005（平成17）年以降約120万人、2013（平成25）年には130万人を超え、2015（平成27）年には約200万人と増加傾向にあります。特にフランスからの観光客が多いのが高野町の特徴です。

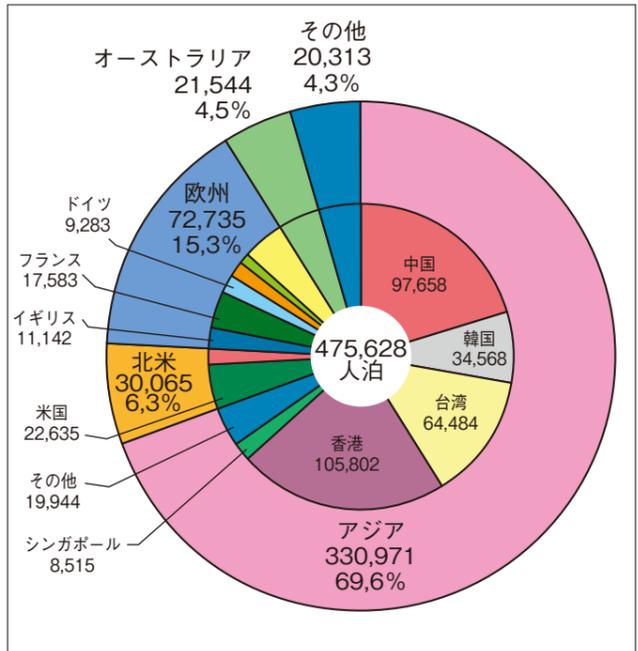
また、外国人の宿泊客を地域別で見ると、欧米諸国からの宿泊客が90%近くを占め、近年は、中国やアジア諸国からの宿泊客も増加しています。

2020（令和2）年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行しました。

高野町では、さまざまなイベントが中止されたり、外国人観光客や団体客が減少したりしたことから、観光客数は少なくなりました。



高野町の国別宿泊者数 (2017年)



和歌山県の国別宿泊者数 (2017年)

注目を集めるようになった高野山

2004（平成16）年「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録され、また、2015（平成27）年には、「高野山開創1200年記念大法会」が開催されました。こうしたことに加え、世界各地の魅力やおすすめの観光地などを掲載した旅行ガイドブックなどにも、高野山が紹介されました。これにより、高野山は、日本だけでなく世界中の人から、行ってみたい旅行先として注目され、多くの旅行者が高野山を訪れるようになりました。

2004年	世界遺産登録 (2016年追加登録)
2009年	『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』三ツ星獲得
2014年	『ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー』 2015年に訪れるべき世界20選に日本から唯一選出
2015年	高野山開創1200年
2017年	『ロンリープラネット』 2018年に訪れるべき世界の10地域のベスト5に日本から唯一、紀伊半島が選出
2018年	『NIKKEIプラス1 外国人が次にめざす「ディープジャパン」15選』で 「高野山奥之院」が第1位に

外国人観光客を引きつける取組

高野町には、雄大な自然、1,200年にわたる長い歴史と伝統文化、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」など、世界に誇れる魅力的な観光資源が数多くあります。高野町は、この素晴らしさを日本はもちろんのこと世界中に発信し、多くの人びとに高野山を訪れてもらおうと考えています。高野町では、特に外国人観光客を増やそうと、いろいろな取組をしています。

ピーアールPR動画

高野町では、高野山の魅力を伝える映像や外国人観光客の感想などを紹介したPR動画を制作し、海外に向けてインターネット配信をしています。



高野山PR動画

VISIT KOYASAN, JAPAN

高野町の観光ホームページ (<http://koyasan.net/>) では、高野町の案内を日本語だけでなく、英語でも行っています。

また、高野町には、7か国の多言語観光パンフレット（英語版、フランス語版、スペイン語版、イタリア語版、タイ語版、韓国語版、中国語版）もあります。



高野町ホームページ



フランスからの観光客

外国人観光客の感想①

わたしはフランスから来ました。高野山のことは、フランスでもよく知られていて、一度来てみたいと思っていました。高野山へはインターネットで調べてやって来たのですが、とても落ち着いた静かな雰囲気、わたしは大好きです。



カナダからの観光客

外国人観光客の感想②

わたしはカナダから来ました。ガイドブックを見て、世界遺産の高野山を訪れてみたくなりました。思ったとおり高野山は、素晴らしいところでした。見るべきものが多くて、一日では回りきれませんでした。もう一度来てみたいです。

高野山ならではの体験

観光客は、魅力的な観光資源を使った高野山ならではの体験を数多くすることができます。

まず、宿坊に泊まることができます。そして、夜でも壇上伽藍や奥之院にお参りができ、夜空を見たり、自然を感じたり、歴史を勉強したりすることができます。そのための取組がいろいろと行われており、こうした体験をするため、国内だけでなく、外国からもたくさんの方が高野山を訪れます。

「高野町観光情報センターiKOYA」では、高野山でしか体験できない、高野山ならではの体験プログラムを提供しています。



外国人観光客



高野町観光情報センター iKOYA



宿坊

宿坊

高野山には約50か寺の宿坊があり、誰もがそこに宿泊することができます。その中には、国や県の文化財に指定されている庭園などをもつ宿坊があり、それぞれのお寺に良さがあります。

写経

写経とは、『般若心経』などの経典を書き写すことです。

一字一句に願いをこめて清書をすれば、雑念がなくなり、心が落ち着きます。写経は、豊かな心を育てるための修行と考えられています。



写経

阿字観

阿字観とは、真言宗に伝わる呼吸、瞑想の方法です。もとは、お坊さんが心を落ち着かせるために行っていたものです。ゆっくりと呼吸を整えて瞑想することで、心と身体をリフレッシュすることができます。



阿字観



勤行

勤行は、仏様にお経を上げ、礼拝する儀式で、「お勤め」ともいいます。

お寺では毎日、早朝に勤行が行われ、宿泊客はこの朝勤行に参加することができます。



勤行

森林セラピー

「森林セラピー」とは、森の自然が織りなす風景や香り、音色や肌触りなど五感を使って感じ、心身に元気を取り戻すことです。

高野山では、世界遺産に登録されたエリアを含め、2007（平成19）年に近畿地方で初めて「森林セラピー基地」として認定されました。



森林セラピー

伽藍、奥之院ナイトツアー

壇上伽藍へと続く蛇腹路や燈籠の灯りが続く奥之院への参道は、余計なものが見えず、不思議な感覚になります。大杉林の間を移動するムササビを目にしたり、闇の奥から聞こえる動物の声を耳にしたりすることができます。このナイトツアーでは、神秘的な高野山の夜を味わうことができます。

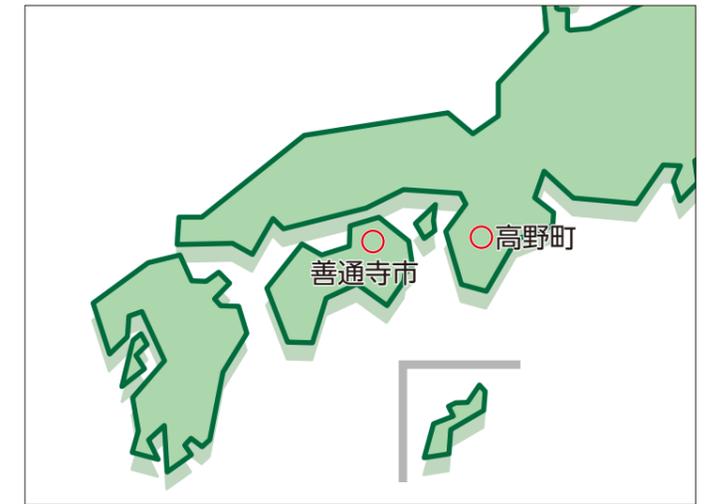


伽藍、奥之院ナイトツアー

高野町と歴史、文化でつながるまち

歴史でつながるまち善通寺市

善通寺市は、香川県の中部に位置する面積39.93km²の都市です。瀬戸内式気候のため、温かくて雨量が少なく、災害も少ない地域です。日本遺産「四国八十八箇所霊場」の中心である総本山善通寺があります。善通寺は、空海が長安の青龍寺をまねて建てたお寺で、父の名前（「善通」）をとって、善通寺とされたといわれています。空海が生まれた善通寺市は、京都市（東寺）、高野山と並ぶ弘法大師三大霊跡のひとつとして、古くから多くの信仰を集めていました。



高野町と善通寺市の位置



総本山善通寺

空海は、774（宝亀5）年6月15日、父の佐伯善通と母の玉依御前の子として、今の善通寺市に生まれました。幼いころは「真魚」と呼ばれ、非常にかしこい子どもだったと伝えられています。善通寺の近くには、幼少の頃泥土で仏像と小さな御堂を作って遊んだ「仙遊ヶ原」（仙遊寺）や学びの場であった「獅子の岩窟」（弥谷寺）など、幼少期の空海を今に伝える史跡がいくつもあります。



幼少期の空海（「真魚」）

空海は806（大同元）年、真言宗最初の根本道場として善通寺を創建しました。こうしたご縁から、1990（平成2）年7月27日、高野町は善通寺市と「歴史友好都市」関係を結び、以後交流を深めてきました。



弘法大師

善通寺の創建1200年に当たる2007（平成19）年には、高野町もお祝いの催しに参加しました。

高野町と善通寺市との間では、さまざまな交流を行っています。これは、未来の担い手である子どもたちが、交流を通してまちの歴史、文化、伝統を学び、誇りを持って育っていくことを目的としています。



高野町と善通寺市との中学生交流

毎年、小学生、中学生の文化作品（図画や書写）の交流をしています。また、中学1年生は、お互いの地域を訪れ、歴史や文化に触れる体験交流も行っています。空海にご縁のある史跡を探索したり、特産品や伝統工芸品に関する体験などを行っています。



ほうらい切り体験

高地にある聖地でつながるまちアッシジ市（イタリア）

アッシジ市とは

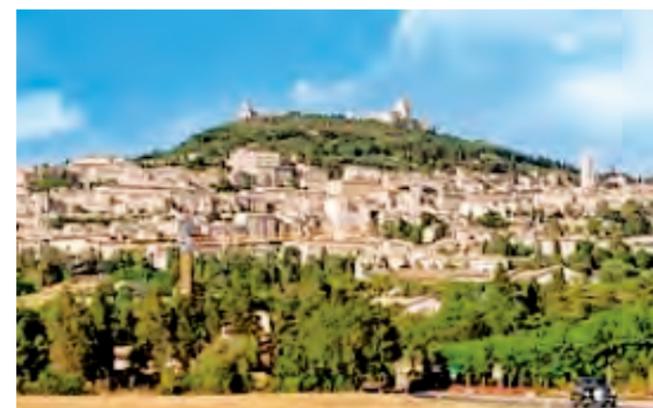
アッシジ市は、イタリア中部のスバジオ山（モンテスバジオ、標高約1,300m）の斜面に広がる人口2万人を超えるまちです。ここは、フランシスコ会の創立者フランチェスコが生まれたことで有名です。アッシジ市で掘り出される石材は、薄いピンク色をしており、この石材を使って造られた建物は、彩りのあるまちなみを形づくっています。



アッシジ市の位置

高地にある聖地

高地に位置するアッシジ市は、2000（平成12）年に「アッシジ、フランチェスコ聖堂と関連修道施設群」がキリスト教の巡礼地として、世界遺産に登録されています。高野町とアッシジ市は、高地にある聖地という環境が似ていることから、2009（平成21）年に日伊世界遺産都市の文化・観光相互促進協定を結び、交流を深めています。



アッシジ市の街



高野町・アッシジ市 日伊世界遺産都市の文化・観光相互促進協定書

世界遺産でつながるまちルンビニ（ネパール）

ルンビニとは

ネパール南部のルンビニは釈迦の出生地として知られ、仏教の聖地のひとつとして、世界中から巡礼者が訪れています。1997（平成9）年には、「仏陀の生誕地ルンビニ」が世界遺産に登録されています。



ルンビニの位置

仏教の聖地「ルンビニ」



プスカリニ池（右上）

ルンビニは、釈迦の母親がお産のために実家へ里帰りする途中に立ち寄ったところです。釈迦はこの地で誕生しました。

ルンビニには、マーヤー寺院を中心に、アショーカ王が巡礼した際に建立した石柱、釈迦の産湯に使ったという池（プスカリニ池）などが残されています。

釈迦はこの世へ出てすぐに7歩あるき、右手で天空を指して左手で大地を指し、

「天上天下唯我独尊」と声を出したという伝説があります。

日本では、釈迦の誕生日の4月8日に生誕を祝う「灌仏会（花祭り）」と呼ばれる行事があります。



高野山真別処の花祭り

天上天下唯我独尊

「自分という存在はこの世に一人だけ」ということから、人はみんな、かけがえがなく大切な存在である、ということ

2015（平成27）年9月19日、高野町はルンビニと「世界遺産都市の文化・観光・相互協定」を締結し、交流を深めています。



ネパール国ルンビニと「世界遺産都市の文化・観光・相互協定」締結

空海でつながるまち 福建省福州市鼓楼区（中国）

鼓楼区とは

鼓楼区は、中国福建省の省都福州市にあり、政治、経済、文化の中心地です。面積35.43km²、人口73万人の地区です。鼓楼区には、文化財や旧跡が多く残り、空海と縁のある開元寺があります。このお寺は、6世紀に建てられた歴史のあるお寺で、空海が唐に留学し、初めて修行をしたお寺です。



鼓楼区

友好都市関係樹立に向けて

2021（令和3）年、高野町と鼓楼区との間で友好都市関係樹立趣意書の調印式が行われました。

今後、文化や教育、観光などの分野で、積極的な交流と協力を進め、正式な友好都市提携をめざしていきます。



鼓楼区との「友好都市関係樹立趣意書」調印式

高野町がめざすまちづくり

高野山らしい景観

大門をくぐり高野山に入ると、道は東へ延び、奥之院まで続く参道へとつながっています。道の両側には、多くのお寺が建ち並び、その間には、飲食店、土産物店、町家などが建っています。道に面した門をくぐってお寺に入ると、前庭から本堂へとつながっています。

このように、異なる大きさや形をしたお寺や商家などが建ち並ぶ景観には、高野山ならではの趣があります。



高野山の景観

まちなみづくり

1,200年の歴史をもつ高野山には、美しい建物がたくさんあります。高野町では、その歴史や文化、そして、豊かな自然の魅力を活かしたまちなみを次世代へとつなげていこうとしています。そのために「高野町景観条例」を制定し、これに基づいた整備や取組を進めています。

このようなまちづくりを進めるために、高野町では、建物の新築や改築の際、その高さ、素材、外観の色まで細かく指定しています。また、高野町と金剛峯寺



商店の外観

とが共同で、高野六木の一つヒノキを使ったベンチをまちなかに設置しています。観光客は、このベンチにすわり、素晴らしい高野町のまちなみを、ゆっくりと味わってもらえます。

このように、高野町では、美しい景観を守り伝えるために、さまざまな取組を行っています。

高野町では、1988（昭和63）年から電線を地中に埋める取組を進めています。電柱や電線が無くなると美しいまちなみがきわだちます。また、歩道の幅も広くなり、歩行者だけでなく、車いすやベビーカーなども通行しやすくなります。

また、災害時に電柱が倒れたり、電線が垂れ下がるようなこともなくなります。

さらに、歩行者と車両が互いにゆずりあう石畳の道を整備し、「歩くことを楽しめるまち」をめざしています。



美しいまちなみ



石畳の道



世界遺産登録後、海外からの観光客が増えています。外国人観光客のために、高野山のことがよく分かるように、案内掲示板には日本語と英語の両方で表記したり、ピクトグラム（絵文字）を使用したりしています。

和式トイレの使い方が分からない外国人観光客のために、高野町では公衆トイレに洋式トイレを設置しました。

また、観光客は宿泊施設や飲食店などの情報をインターネットを使って集めます。そうした観光客が高野町滞在中に困らないようするために、Wi-Fi環境の整備も進めています。



案内掲示板

安全で安心なまち

高野町に住んでいる人びとは、このまちに誇りをもって生活しています。住民は高野町の財産です。「いつまでも住み続けたいまち」であることがとても大切です。

そのために、高野町では生活の安全、安心を確保して、人と人がつながり、お互いが支え合うことのできるまちづくりをめざしています。

また、高野町を訪れた人が、心のふるさととして高野町を想い、人が集うことのできるまちにしようと、高野町は努力しています。

医療の充実

高野町では、緊急時や夜間に、適切な医療ができるよう、橋本圏内の医療機関と連携しながら、地域医療の充実に取り組んでいます。また、訪問介護の充実、通所リハビリ施設の開設も行っています。



通所リハビリのようす

防災の強化

災害時に素早く対応できるよう、すべての家庭へハザードマップを配ったり、防災訓練などを開催したりしています。また、災害時、住民や観光客に正確な情報を伝えるため、ホームページ、SNS、「知らせてネット」などのメールサービスや「FMはしもと」によるラジオ放送を活用しています。



交通事故防止の取組

観光客がもっとも高野山を訪れる時には、交通渋滞がよく起こります。その時は、歩行者にとって危険な状況になります。子供や高齢者が交通事故にあわないよう、警察や関係する団体と協力して、啓発活動などにも積極的に取り組んでいます。



交通安全啓発活動のようす

子育て、学びのまち

高野山は、空海が人を育てるために開いた学びの場です。「生きとし生けるものは、共に学び、共に助け合うことが大切であり、この教えを実践することで人の心は豊かになる」という教えを今に伝えています。

住民をはじめ高野町を訪れる人も、学問を深く研究すること、そして、学ぶことで得られた知識や経験を社会で活かし、共に助け合い、支え合うことのできるまちをめざしています。



積極的な子育て環境の充実

高野町では、保育、幼児教育、義務教育の無償化を実施し、地域ぐるみで子育てをする環境づくりを進めています。ふるさと教育や英語教育の推進などを通して、地域とのふれあいを充実させ、郷土愛と思いやりのある子どもや国際化に対応できる子どもを育てようとしています。



高野山こども園の豆まきのようす

高野町再発見

高野町では、国内外の姉妹都市や友好都市と交流をしています。これにより、歴史や文化、風土の違いを感じ、互いに認め合う精神を育むとともに、「高野町らしさ」を再発見し、高野町への愛着と誇りをもつ人材の育成をめざしています。



モンゴルからの人との紙漉きでの交流

生涯学習の充実

住民が求める学習講座を開催し、そこで学んだ知識、経験を地域活動で活かせる環境づくりを進めています。そのため、公民館活動やサークル活動などの生涯学習活動の活性化を図っています。



高野山学

また、健康増進や住民同士の交流を目的としたスポーツ大会やレクリエーション活動の充実にも努めています。



町民運動会



町民教養講座（薬草の現地研修）

協働のまちづくりの推進

地域の活力の源となるのは地域コミュニティです。高齢化などにより地域活動の担い手が不足していますが、「報恩高野市」「高野町交流ひろば」などの催しを通して、町民の交流する場を増やしています。高野町では、より多くの町民が参加できるような魅力的な催しを行い、また、地域コミュニティの担い手の育成にも努めています。



ほうらい切り



報恩高野市

過疎対策支援の充実

廃校となった小学校を整備し、地域住民の交流の場として活用しています。また、高野町外からの移住者を積極的に受け入れ、空き家を効率的に活用する取組も進めています。



移住相談

地域資源を活かした産業振興の充実

伝統的な「高野の手仕事」の継承や地産地消の推進、使われていない田畑の活用、地域資源の積極的な活用などを行い、地域の産業を盛んにするための取組を行っています。



資料

写真で比べる高野山の昔と今



かめや寿司店（青葉祭）（年未詳）



かるかやどろ 刈萱堂（年未詳）



乗合馬車（門谷菓子店前）（年未詳）



遍照光院前（青葉祭）（年未詳）





千手院橋交差点 (昭和32年)



青葉祭りの行列 (千手院橋交差点付近 (昭和32年))



五の室谷 (昭和32年)



加勢田石油前 (年未詳)



高野山スキー場 (昭和7年2月21日)



高野山大学図書館 (昭和4年4月)



金輪塔 (年未詳)



金堂 (昭和元年焼失前)



奥之院御供所



昔の写真は『高野町の昔と今』より

郵便局

高野郵便局は、日本で郵便制度が開始された1872(明治5)年に誕生しました。郵便局の集配区域は、高野山地区を3区、高野山以外の地域を2区に分けています。いちばん遠い所は、神谷、細川、花坂、湯川で、55km以上をまわります。

高野郵便局の特色は、お寺が多く、観光客も多いので、取り扱う郵便物の量が非常に多いことです。特に、毎年節分に行われる星まつりの前後は、案内状やお祈りしたお札などの発送で、1年中で一番忙しい時期です。

節分の翌日には、パレット(郵便物を入れるケース)にして1,700ケースほどの郵便物が、大型トラック5台で、和歌山の中央郵便局に送られます。

富貴郵便局は1880(明治13)年にできました。西富貴にあり、郵便物の配達区域は、富貴と筒香の全域です。

郵便局ができたころは、郵便物を1日2回、てんびん棒でかついで、橋本まで運んでいました。今は郵便車で1日3回、橋本郵便局へ運んでいます。

2007(平成17)年10月、それまでは国が経営していた郵便局が民間会社の経営となり、現在は日本郵便株式会社が経営しています。

高野町は冬の寒さが厳しい地域です。雪の日や道路が凍った日は大変ですが、どのような天気であっても、みんなのために郵便物を配達してくれます。

高野電報電話局

高野山では、1900(明治33)年から電報が打てるようになり、1910(明治43)年からは電話で話ができるようになりました。

電話、電報の仕事は、はじめ高野郵便局に委託されて行われていましたが、電話がダイヤル自動式になったのを契機に、1965(昭和40)年2月21日、五の室に高野電報電話局が開局しました。

開通当時、電話番号の数は、わずか44でしたが、1989(平成元)年には2,300をこえました。



高野郵便局



富貴郵便局

星まつり

毎年節分に高野山の各寺院で、信者のために行う家内安全などの祈禱で、寺では祈禱札を信者に送る。



高野電報電話局

富貴地区も、富貴郵便局に委託されていましたが、1972(昭和47)年12月からダイヤル自動式になりました。加入者の数も、それまでの130から急に増え、450あまりになりました。

現在、高野山地区、富貴地区ともに、人口流出や携帯電話の普及などにより、加入者の数は減少しています。

1985(昭和60)年、それまで電話などの通信事業を行っていた日本電信電話公社が日本電信電話株式会社に民営化されました。現在、1999(平成11)年に設立された西日本電信電話株式会社(NTT西日本)が、県内の通信業務を行っており、高野山にはNTT西日本高野別館、富貴にはNTT西日本富貴別館が置かれています。



NTT西日本高野別館

関西電力出張所

高野山に電灯がついたのは1909年(明治42)年で、当時の電力は、高野山地区で火力発電を行って得ていました。今は、関西電力送配電橋本配電営業所がうけもっています。

発電所で作られた電力は、送電線を使って運ばれ、高野口町にある高野口変電所を通して、高野山配電塔に送られた後、高野山の各地区に送られます。

その後、富貴に電灯がついたのは1915(大正4)年です。他の地区と比べて早かったのは、大和索道を電化するためでした。富貴地区の電力は、奈良県野原変電所から送られてきます。



高野山配電塔

高野町商工会

1987(昭和62)年、高野町商工会は高野町商工会館を建てました。そこで、高野町商工会は、町内の商工業をいろいろな面から改善・発達させる仕事を行っています。その仕事の内容としては、商工業に関する相談への対応や指導、さまざまな補助金申請の支援、経営者や従業員への講習会の開催などを行っています。また、商工会としての意見や要望を国や県に申し出て、地域の商工業が一層発展するよう努力しています。



高野町商工会館

ものがたり お大師さまと高野山

お大師さま 入定までの足あと

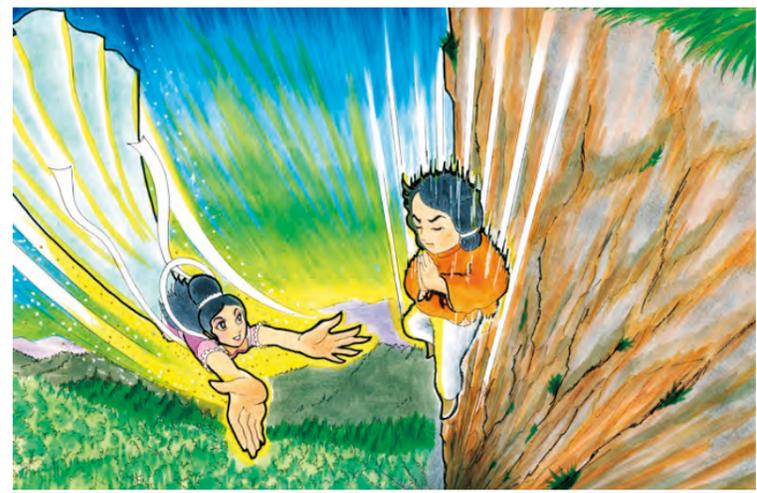
お大師さまが生まれたのは、今から1,200年以上も前の奈良時代の終わり頃でした。讃岐国（今の香川県）の豪族の家に生まれ、幼少期の名前は真魚といました。

豪族
大きな財産や勢力をもつ有力者で、地域を支配する一族



両親の影響で幼い頃から仏教に興味を持ったお大師さまは、仏さまとお話をする夢を見たり、泥や草木で仏像やお堂を作ったりして遊んでいました。当時からとても賢く、日常の行いなどで人びとを驚かせていたようです。

お大師さまが7歳の頃、「わたしは何のために生まれてきたのであろうか。もしもわたしに価値があるなら死ぬことはないであろう。」とって山から身を投げました。



すると、仏さまのお使いである天女があらわれて命を救ったといわれています。

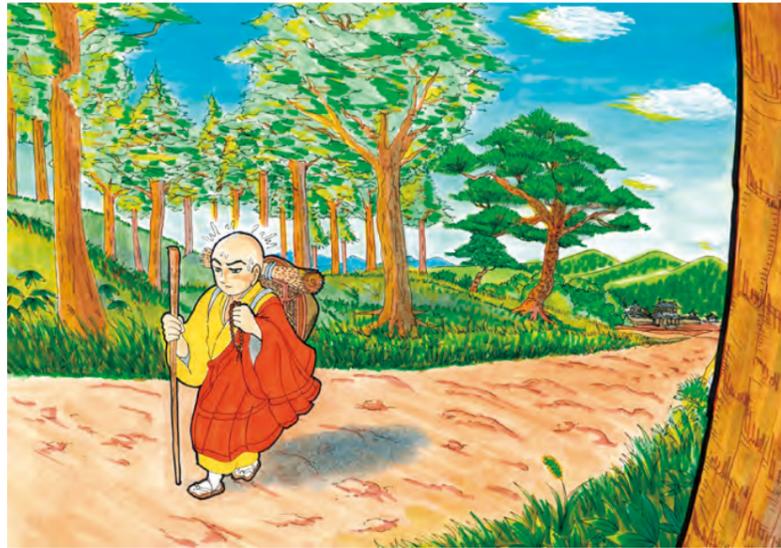
お大師さまは、18歳で大学に入学しました。当時の大学は京の都に1つしかなく、競争者が多く、入学することは大変難しいことでした。大学に入ってからの成績は大変すぐれていたそうです。

神や仏の世界にあこがれがあったお大師さまは、大学での勉強に物足りなさを感じていました。そんなある時、ひとりのお坊さまに出会い、修行の旅に出かけることにしました。



お大師さまは、全国各地で大変厳しい修行をしたといわれています。そして、仏の道こそが自分の進む道であると思い、大学を20歳でやめてお坊さまになりました。

仏教の勉強を深めたお大師さまは、生きたままで仏となる方法など、もっと深く仏の知識を学びたいと思いました。この頃から、お大師さまは、世界の文化の最先たんであった唐（今の中国）の都で学ぶことを志しました。



そして、30歳の時、最澄らと同時期に遣唐使の船に乗って唐へ渡りました。当時の船は今のようには立派ではなかったので、暴風雨で沈みそうになりながらも、なんとか唐にたどり着きました。

開元寺

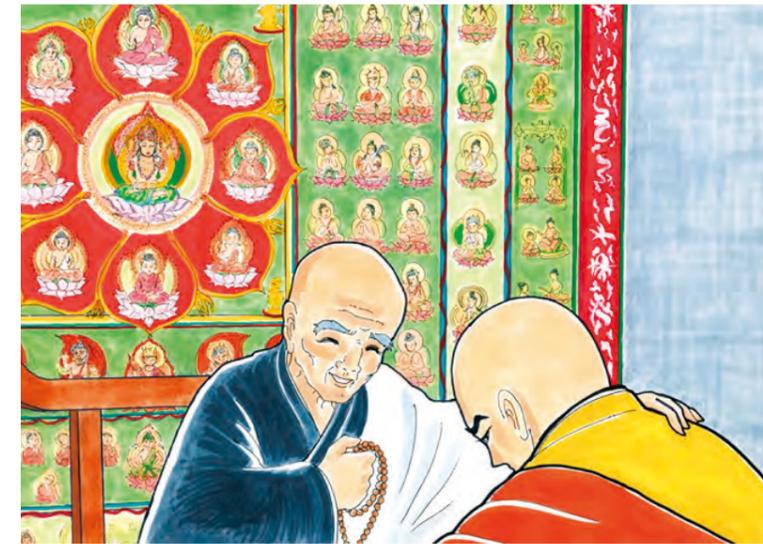
お大師さまが入唐後、初めて立ち寄った寺院が開元寺。開元寺のある中国の福建省福州市鼓楼区と高野町は、2021（令和3）年、友好都市関係の樹立に向けた趣意書の署名式を行った。

しかし、唐の人びとはこの船を日本の正式な使いとは認めず、上陸を許可しませんでした。そこで、お大師さまが手紙を書いたところ、それを見たお役人は文章のすばらしさ、字の美しさに驚き、一行をていねいに迎えたといわれています。



その後、さらに何日もかけて唐の都「長安」へと向かいました。お大師さまは、ここで密教だけでなく、最新の土木技術などの文化も学びました。

お大師さまは、青龍寺というお寺で、真言密教の継承者である恵果和尚と出会いました。恵果和尚はわずか3か月で密教の教えのすべてを授けた後、お亡くなりになりました。1,000人以上の弟子がいた恵果和尚が密教のすべてを伝えたのは、お大師さまを含めて2人だけだったといわれています。

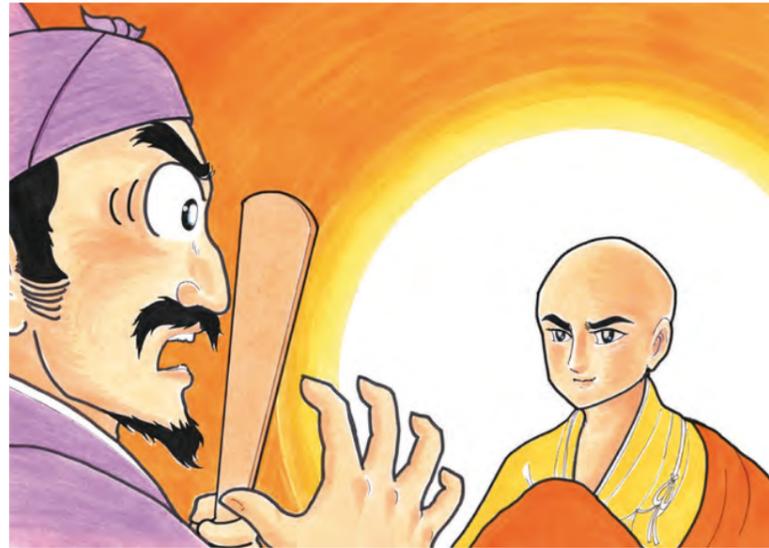


唐に来て2年が経った頃、お大師さまは密教の教えを広めるために日本に帰ることにしました。帰国に際し、お大師さまは唐の海岸から「密教を広めるために最適な場所を示せ」といって、三鈷杵という法具を投げました。すると、三鈷杵は雲に乗って飛んでいきました。この三鈷杵は、後に日本のある場所で発見されることとなります。

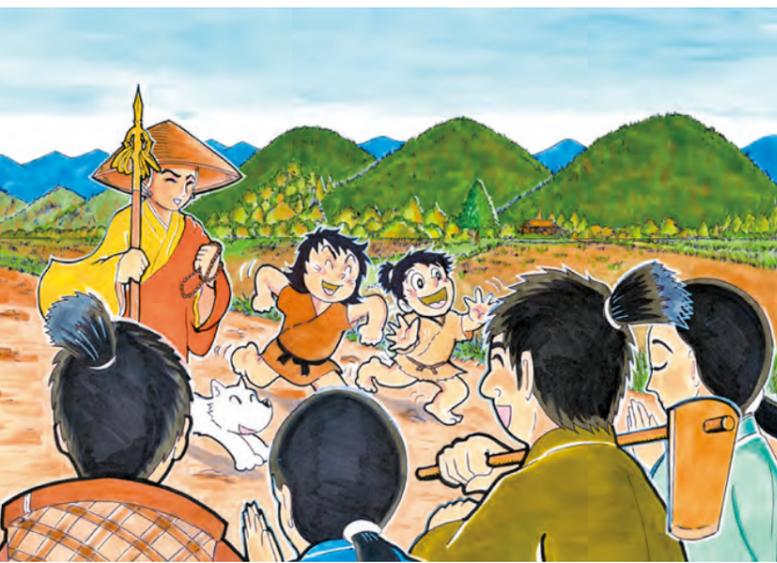
法具

仏教の行事で用いられるあらゆる道具

日本に帰ってきたお大師さまは、嵯峨天皇によって、これまでの成果を認められました。その後、全国各地で活躍されることになります。

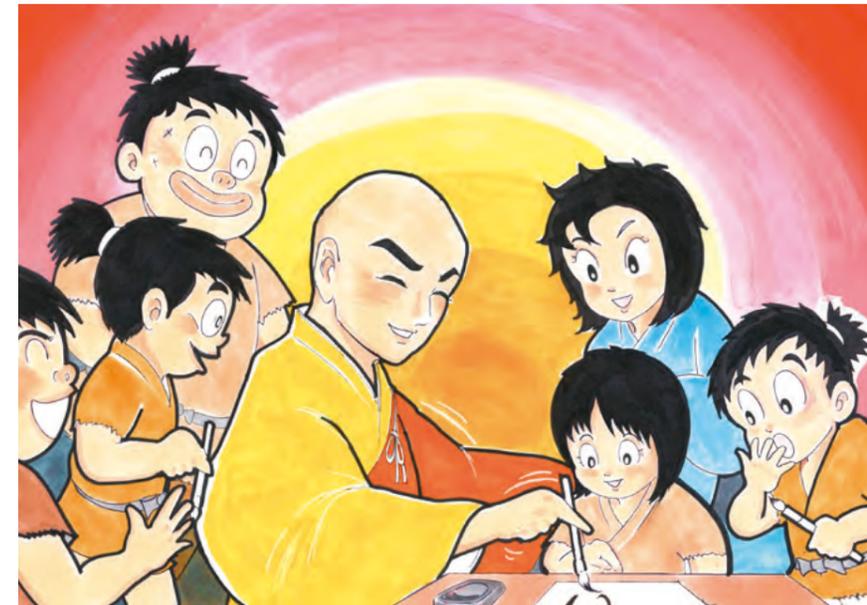


日照りで雨が降らず、飲み水さえない大災害の時には、龍神さまをお招きして大雨を降らせたという伝説もあります。

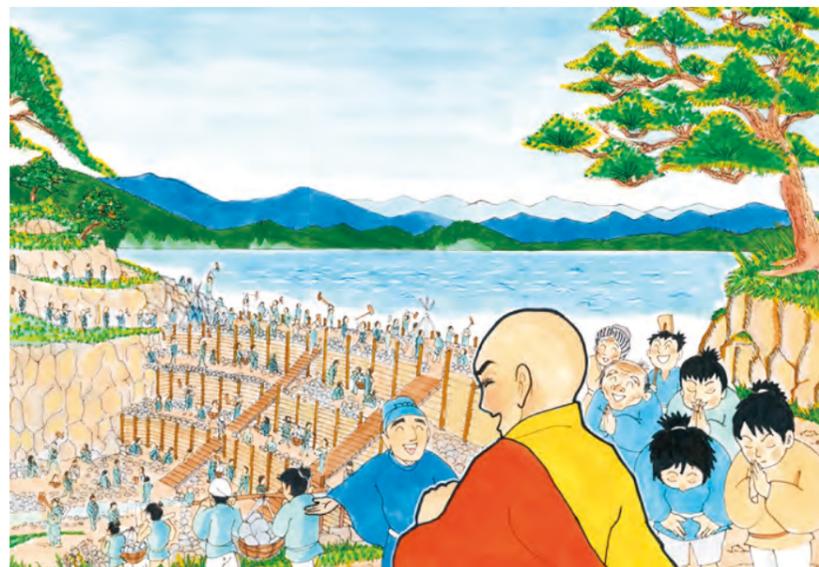


四国は、お大師さまが何度となく訪れたところで、そのゆかりの地は、現在「四国八十八か所霊場」として多くの人びとによってお参りされています。

当時の日本で、初めて庶民が学ぶ学校を開校したのもお大師さまです。そして、みんなが簡単にかなを覚えられるように「いろは歌」も作りました。



讃岐国（今の香川県）に満濃池という大きなため池がありました。毎年梅雨時期になるとよくてい防が壊れていましたが、お大師さまは唐で学んだ最新の技術で、難しい改修工事を短い期間で終わらせたということです。



さて、当時の日本は、都を京都に移して政治の立て直しをしようとしていました。それにも関わらず、貧富の差が大きくなり、僧の中にも、勢力の強い者と手を組んで自分の出世をはかったり、人びとを階級で区別するような教えを説いたりする者もいました。お大師さまは、こうした僧の墮落を厳しい言葉でいさめ、仏の前ではすべての人びとは平等だと説き、真言密教を通して誰でも仏の心になれると教えました。そして、真言宗を広めて人びとの心を救い、仏教の力で国を守ることを願いとして、人里離れた山の上に寺を建てようと決心しました。

お大師さまは、弟子たちが心静かに修行に励むことができ、国の繁栄を祈る地として適当な場所を探し求めていました。そして、高野山こそが最も適した場所であると考え、嵯峨天皇にお願いして高野山を開くことを許されました。それは、お大師さまが唐から帰国して10年目、42歳の時でした。



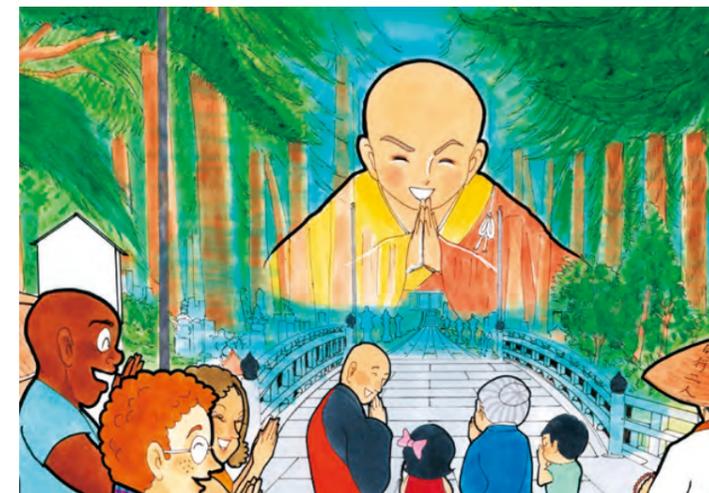
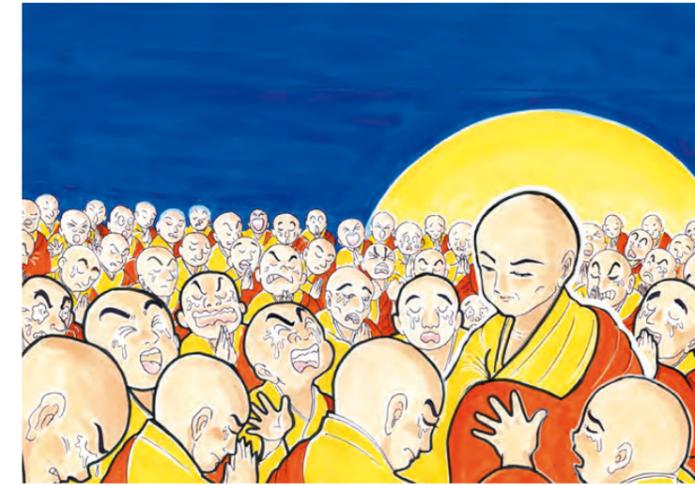
お大師さまが高野山に向かう途中、今の奈良県五條市の地で白と黒の2匹の犬を連れた大きな狩人に出会います。犬に導かれたお大師さまは、九度山の慈尊院の近くで宿をとり、高野山へと向かいました。

高野山にたどり着いたお大師さまは、清く、靈氣にあふれる土地のすばらしさに感動し、山開きを始めました。しかし、高野山は高い山の上にあるため、物の調達や運搬は簡単には進みません。都から遠く離れた、道もほとんどない山の中へ多くの材料を運び上げ、山から木を切って寺を建てることは、大変困難なことでした。



お大師さまが高野山にたどり着いた時、松の木にかかっている唐から投げた三鈷杵を見つけ、改めて高野山が目的の場所であると確信したといわれています。普通、松の葉は2本ですが、壇上伽藍にある三鈷の松は葉が3本になっていてめずらしく、お守りとして持ち帰る人も多くいます。

62歳になったお大師さまは、弟子たちを集めて「まもなくわたしは入定する。そして、高野山で人びとを救い続ける。」と言われ、永遠のめい想に入ったといわれています。



奥之院の「御廟橋」を渡る時、お参りの人びとはお出迎えをしてくださるお大師さまへの感謝の気持ちとして一礼します。

入定から1,200年以上たった今でも、お大師さまはわたしたちを見守り、救おうとしてくれているのです。

『布教紙芝居お大師様 弘法大師一代記』

ここでは、空海をお大師さまと表記した。

『布教紙芝居お大師様 弘法大師一代記』編集委員：小塩祐光、野條泰圓、星島光雅、橋本真人

絵：金森丸人 発行：真言宗布教研究所（2014年9月21日発行）を引用した。